



平成 26 年 12 月 5 日
国土交通省中部地方整備局
四日市港湾事務所
三重河川国道事務所
紀勢国道事務所

国・県・市が連携した訓練を実施

～尾鷲市巨大津波対処訓練に中部地方整備局の 3 事務所が参加～

1. 概要

平成26年11月29日(土)に開催された「平成26年度 尾鷲市巨大津波対処関係機関合同訓練」に参加しました。

この訓練は、南海トラフ巨大地震及びそれに伴う大津波が冬期の日没を迎える時間帯に発生した想定で、情報伝達訓練、津波避難訓練、地域住民と防災関係機関が連携した救出救助訓練、物資輸送訓練、夜間活動訓練等へ、警察、消防、自衛隊、海上保安部、各種団体等が参加したものです。

当整備局からは、三重県内の道路・河川・港湾を所管する事務所の中から 3 事務所が訓練に加わり、次の訓練を実施しました。

- ①現地へ資機材等の搬入路の確保 …紀勢国道事務所
- ②「衛星通信車(1 台)」による現地対策本部の通信支援 …三重河川国道事務所
- ③「照明車(2 台)」「排水ポンプ車(1 台)」による避難路の確保 …三重河川国道事務所、紀勢国道事務所
- ④TEC-FORCE による岸壁の被害状況調査 …四日市港湾事務所

※TEC-FORCE とは…Technical Emergency Control Force の略称

大規模自然災害における被災状況の迅速な把握や被災地の早期復旧に関し、地方公共団体等に対して技術的支援を円滑・迅速に実施する国土交通省の技術集団

2. 日 時 平成 26 年 11 月 29 日(土) 15:00～18:00

3. 場 所 三重県尾鷲市梶賀町

4. 主催者 尾鷲市、三重県

5. 訓練参加機関・団体

三重県、尾鷲市、梶賀町、三重県警察、自衛隊、中部管区警察局、尾鷲海上保安部、中部地方整備局、病院 等 28の機関・団体

6. 訓練参加者数

約350人

7. 訓練の様子 別紙

8. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス



9. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

四日市港湾事務所 総務課 田中(たなか)・日原(ひはら) TEL 059-351-1357

三重河川国道事務所 総括地域防災調整官 和田(わだ) TEL 059-229-2211(代表)

紀勢国道事務所 管理第一課長 稲垣(いながき) TEL 0598-52-5366

【訓練の様子】



緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)活動状況報告
～尾鷲市現地災害対策本部長(副市長)に活動状況の報告～



地震発生、全隊員高台に退避
～照明車による避難路の確保～



排水開始、浸水を想定した訓練
～排水ポンプ車による早期浸水解消～



巨大津波襲来、岸壁被害調査
～TEC-FORCE による被害状況の調査～



災害対策本部への通信訓練
～衛星通信車による通信経路の確保～



夜間活動訓練
～照明車による夜間作業場所の確保～